

アマダイ通信NO. 153

(Tile fish network letter) 2025年 トランプ再び踊る

知人・友人各位

資本は貪欲に市場と安い労働力を求めグローバルに展開する。資本のフロンティアが拡大するにつれ、格差も拡散し世界の平準化も進む。先進国で中間層が細り、途上国では拡大、民主的な政治体制の進んだ先進資本主義国ではグローバル化、寡占化した巨大資本が政治やメディアを、票を買収し支配を強める。重商主義の時代に戻ったかのようにトランプは重関税を振り回すが、ドルを刷って世界中から紙切れで物資を手に入れ、為替操作でその価値を上下し債務を解消する、ドル覇権はアメリカの巨大金融資本・グローバル資本には都合がいい。目先を変えるトランプ流のアダ花はいつまで咲き誇るのか？

◎妻老人ホーム再転所も精神科に！

1月30日(金)、一日がかりで戸田の精神科病院に無事入院手続きが終わる。ヒューマンサポート柏の葉からサニーライフ板橋徳丸に移ったのが22日(水)。板橋徳丸は新設で四駆の愛車ルーミーのナビには情報がなく、電話でも住所でも検索出来ない。偶々表示されたサニーライフ板橋に行くと、ここではないと、近くの板橋徳丸の地図を貰うハプニングも。徳丸も建物のオーナーは最初にお世話になったサニーライフ芝浦と同じく、三菱地所。ホテルと同じく老人ホームの建物の所有と経営の分離も進んでいるようだ。

入所して一週間もしないで看護婦さんから電話。幻視や幻聴が酷く、取り敢えず精神科に入院して治療した方がいいという。柏の葉と違って病院探し、搬送、入院まで手配してくれ、入院の日も看護婦さんに半日付き添って頂き助かる。柏の葉のように病院に付き添えば10分千円とか世知辛いことも言われず、オールインワンで助かる。

部屋の中に男がいるとか、男が入って来るという幻覚症状があり、悲鳴や奇声を発したりする。その関係で男性ヘルパーの介護を拒むということで、柏の葉では手がかかる、面倒な入所者ということになり、退所して欲しいと言わんばかり。幸い新設のサニーライフ徳丸に入ったのが22日(水)。一週間も経たずに、レビー小体型認知症だから精神科病院で治療した方がいいとのアドバイス、病院も手配、同行してくれる。看護婦さんの父親がやはりレビー小体型認知症で幻覚症状があり、包丁を振り回すなどして大変だったと。妻の場合は幻覚というより、手足の震えなどの症状が酷く、それがパーキンソン病なのか？レビー小体型認知症なのかははっきりせず、似たような症状で使う薬も同じだということで、どちらなのか片はつかないが、薬を飲んで対応。レビー小体型認知症と言っても手足の震えなどの症状だけだと思っていたが、幻覚症状もあるということを知り初めて知る。あの男の介護士は駄目！とか我が儘ばかり言ってたら、どこも入れる老人ホームはなくなるよ！と説教していたのは、的外れだった。介護のプロで、看護士もいる柏の葉も、一般素人と同じような対応だったのは残念。

窮状を訴えると友人からメール。※母もレビー小体型の痴呆だったと、家族の間では認識してます。幻覚、幻視。ちょっと徘徊。足が弱ってたので遠くまでは行かなかったけど。電気のコードを鋏で切った時は肝が冷えました。※クレイ爺の返信。悪化すると、そうなる可能性があるということですね。柏の葉で「異常行動」、「ワガママ」で扱いにくい、

退所して欲しいと言わんばかりに扱われたのは、レビー小体型認知症悪化のプロセスだったんですね。更にクレー爺は考える。取り敢えず精神科に入院、帰る場所としてサニーライフも確保、基本料金は払わなければならない。病院と二重に経費がかかる。病院の差額ベッド代が1日3700円。入院は取り敢えず3ヵ月だが、その後もうちで面倒みますよ！という病院の雰囲気。病院の隣に同じ医療法人経営の老健施設、グループホームなども付設。施設と病院を行ったり来たりするようになれば、病院の介護施設に入るのが合理的なのかも知れない。検討してみる価値はあるかとも思う。

◎党校の教授さえ移民の勧め、日中社会事情、福祉事情

レビー小体型認知症だから精神科で治療した方がいいとのサニーライフのアドバイスに、※友人は「レビー小体型認知症」ですね、母も同じ診断が出ており、かれこれ5年以上になります。認知症患者の4%なのですが、母の場合、初期段階で診断されたので投薬等で調整していましたが、進行すると「パーキンソン症状」が現れますので急に歩行困難になって、在宅リハビリ担当者と主治医（脳神経内科）の調整で、現在、「難病指定」を受けています。（「パーキンソン症」と「パーキンソン症状」は異なるので、難病認定されるかは紙一重でした。）見えないものが見えて、聞こえないものが聞こえる、就寝後夢の続きがそのまま残って起きると混乱するのですが、覚醒している時は状況判断ができるので、現在、特養の申し込みをしつつ、平日は看護小規模多機能（介護士より看護師が多い施設）を利用、週末帰宅（自立もできないので大変ですが）のルーチンです。先週は、自分も体調不良で緊急入院、両親ともに施設でお世話になれたのが不幸中の幸いでした。自身も入院できて助かりました。やっと今日より復活してますが、症状を繰り返しているの、次にいつ起こるか「おひとり様」は不安で仕方ありません。

☛※お一人様だと物理的だけでなく、精神的にも大変ですね。色々勉強してよくご両親をお世話しています。クレー爺は介護保険制度をフルに利用して働き続け、余生を楽しんでいます。海外に行けるのも介護保険制度があるからです。施設に入ってくれば、たまに面会や差し入れにいくだけで、そんな大変なことはありません。病気で入院すると一時大変ですが（NHKで最近放映していた、「社会主義」中国のがん患者への付き添いや食事の自弁などの入院生活に比べれば、医療や介護の社会化が進む日本では完全看護なので、個人の負担は少なくてすみます。入院してしまえば、差額ベッド代の支払いだけが問題です。因みに今回は二人部屋で3700円。病院も老人ホームも払えるお金に松竹梅があり、ピンキリですが、相互扶助の精神に基づく健康保険、介護保険があるので助かります。生活保護を受けていても特別養護老人ホームなら、福祉の範疇に入るので、4人部屋とかをそれなりの負担で利用出来ます。今回も入院は長くて3ヶ月の予定で、老人ホームのサニーライフ板橋徳丸に戻ります。家賃と食事のひと月分の費用が毎月13万8千円なので、それから食事の材料代くらいを引いた基本料金を重複して負担する形になります。

※以下は上記の☛メールに対する中国に住む友人からのコメント。

奥様の介護、大変なことと存じます。とはいうものの、何もない中国と比べたら、天地の差、日本の有難味を感じます。この国ならば、完全に自分たちで何とか処理しろということで、お金があれば、人を雇って自分の家で住み込みで面倒を見てもらうことになります。お金がある家は家も広く、介護する人が泊まり込む場所もあります。あとは監獄

のような精神病院に送り込むということ。人間性を保つのは難しい。普通の家ならば、早くに亡くなってもらうということになるのでしょうか。いずれにしても地獄です。

私たち夫婦はそれぞれ月収1万円(21万円)以上ですが、権威ある統計によれば、1万元以上は中国全土の働いている人の1.2%(700万人)だそうです。つまり、日本で言うところの年収1000万円以上が労働者の6%ほどですから、私たちは中国的にはパワーカップルとなります。しかし、それでもヘルパーさんを雇うと月に1万元以上かかるので、一気に生活は厳しくなります。住宅ローンなどがあればそれこそ破綻します。

息子の面倒見てくれるお手伝いさんの費用が平均月1万円なので、相当大変です。来月から私立の幼稚園に入れますが、少子化で普通の幼稚園は潰れ、近隣の幼稚園に入れてもらえず、入れる幼稚園は費用が月に1万2000元です。中国で夫婦双方が上位2%に入っている我が家でも2人目は育てられないのだから、少子化が進むのは必然です。バブルが崩壊した今後は止めどなく進行していくことでしょう。

党校の教授と食事をしました。教え子達が先生を囲んで食事をする席での今回のテーマは、なんと教授自らが教え子たちに、今の君たちの持っている地位や世間体や、経済的なメリットを捨てても海外に出て、自分の子供の教育に人生を捧げなさいということでした。驚きました。私の知り合いの先生方でいろいろな意味でレベルの高い先生ほど子供を海外に出してしまっていますし、場合によっては自分も海外に行ってしまう。今月の15日には、私の大学時代の友達で北京で弁護士をしていた同級生も、今までのキャリアを捨てて、子供のためにと家族全員でアメリカに移民してしまいました。私も外国に出て自分でビジネスをやろうかと考えています。

◎資本主義の不均等発展の先、一国社会主義と世界革命

資本は安い労働力と新しい市場を求めてフロンティアに殺到する。結果、公害と格差を撒き散らしながら、世界をフラットにしようとする。戦後先ず日本が世界の工場として経済発展、次いでシンガポール、韓国、台湾が豊かになり、更に中国、タイ、マレーシアと続く。資本主義の不均等発展(レーニン「帝国主義論」)。インドネシア、ベトナム、後発のバングラデシュ、カンボジアなども必死だ。バングラデシュを追って開発途上のカンボジアも、公害を垂れ流して経済発展に余念がない。高度成長期の日本のように。

多くは開発独裁体制を敷き、先ず縫製などの軽工業から投資を受け入れ、安い労働力を提供、経済成長を計る。カンボジアはフンセン親子が30年以上独裁体制を敷き、バングラデシュではハシナ独裁体制で経済発展するが、中間層の拡大と共に独裁体制が崩壊、民主化したばかりだ。経済成長が続き豊かになると中間層が増え、自由化を求めるようになり、民主主義が発展する。だが習近平の中国は独裁を強化、自由を抑圧、社会の統制を強める。自由な発想、創意工夫の上に生産性の向上、技術の発展、イノベーションがあるとなれば、いずれ行き詰まり、破綻する。14億人の巨大市場とそれを餌にする技術移転の強制と自力更生で、それを乗り越えることが出来るか?60年代にソ連がスプートニクを打ち上げ、科学技術で欧米をリードしながら、89年のベルリンの壁の崩壊に続き、ソ連邦はあっけなく解体した。習近平はソ連邦解体の二の舞を演じまいと、共産党独裁を強め、まるで戦前の治安維持法下の日本のような思想統制、社会統制を進めるが、それは国民の自由な発想、創意工夫を削ぎ、イノベーションを遅らせ、生産性が低下、経済と社会

の停滞を招き、ソ連邦が解体した道を歩むことにならないか？

ソ連邦も社会主義中国も遅れた農奴制国家、封建制国家で咲いた徒花だったのか？マルクスは社会主義革命は高度に発展した先進資本主義国で発生し、世界革命として発展するとした。だが革命は資本主義の高度に発展したイギリスやフランスどころか、遅れた資本主義国家ドイツですら起きず、マルクスが考えもしなかった農奴制国家ロシア、封建国家中国で起きた。社会主義革命によって生産手段の私的所有は廃止され、「能力に応じて働き、働きのに応じて取る」社会（社会主義社会）から、「能力に応じて働き、必要に応じて取る」社会（共産主義社会）に発展すると説く（「共産党宣言」）。社会主義と共産主義の二つの段階の間には、人間の欲望の在り様と分配に関する、全く異なった人間像が存在する。だがその移行の方法、紀元前に孔子が理想とした「己の欲するところに従って矩を超えず」と語ったが如き人間像への移行プロセスについては語らない。先富論（先に豊かになれる者から豊かになる＝格差容認）を唱え、改革開放・市場経済化を進め経済を発展させた鄧小平に対し、習近平は共富論（共に豊かになる＝格差是正）を唱え、民営企業の活動を制限、毛沢東流の「文化革命」を進めるかの如き状況（国進民退）を呈するが、経済の減速に直面この2月あらためて、アリババやBYDをはじめとした有力民営企業のTOPらと面会、民営企業の活動の拡大を図るという苦境に陥る。

◎情報仲介業事始め、足を向けて眠られない！

JR 東日本本社ビルの外壁の製造・施工などでお世話になった64年入寮の今木先輩（奈良女子大付属、理I、工学部土木学科卒、JR 東日本常務取締役、アトレ社長・会長）からメールを頂く。

干場革治 様 すっかりご無沙汰しておりますが、お元気で幅広くご活躍のご様子、何よりと存じます。アマダイ通信をお送り頂いておまして、誠に有難うございます。天下国家論からビジネス、趣味、現役寮生へのボランティア、故郷、日常生活、それらを支える豊かな人脈、、大変幅広く中身の濃い記事で、毎号、感銘し、興味深く拝読致しております。確か35年程前、久保田康史君（64年入寮同期、今木さん同室、弁護士）からご紹介があり、高橋カーテンウォール工業の営業マンと御一緒に、丸の内の旧国鉄ビルの一室で、初めてお会いした時のことが、ついこの間のことのように思い出されます。正直申し上げて、あの時の私の第一印象を遙かに超えて、大変素晴らしい人生を過ごしてこられ、また、これからも過ごそうとされていることに対し、心からの祝福と声援をお贈り致します。遅ればせながら、アマダイ通信の封書からメールへの変更、確かに承りました。次号からは、このメールアドレス宛てに御発信頂ければ幸いです。今後とも宜しく願い致します。時節柄、くれぐれもご自愛ください。今木 甚一

今木さん、干場です。大変お世話になります。了解です。ありがとうございます。今木先輩には足を向けて寝られません。お陰様で小山さん（常務執行役員、建設工事管掌）まで、ずっとお世話になっています。深澤会長や喜勢社長のところまで、顔を出させて頂いています。今後とも、宜しく願いいたします。

1年浪人して東大に入ったのが1966年、日本は高度成長真っ盛りだが、秋田の北端岩館村への恩恵は薄く、半農半漁の村は貧しかった。その日に食べる米もなく郵便局長宅に一升の米を借りに来たり、銭湯もない小さな村で風呂を借りに来て、庇を伸ばしたバラッ

クの風呂場の五右衛門風呂には遠慮して入らず、体を洗っただけで帰る家もあった。そんな寒村から東大文 I に紛れ込んでしまった●、法学部に進学してこのままエリートコースを突っ走っていいのか？世の中は市場経済、資本主義社会であり、資本家と労働者の二大階級が存在、対立・拮抗し、不断に貧困と格差、疎外を再生産しながら発展していることによりやく目覚めた●。階級対立を止揚することによって、この不合理、理不尽は解決される。搾取する側ではなく、自らが生まれ育った寒村の農民、漁民、労働し生産する側に立って、資本主義社会を根本から覆す！学生運動、革命運動の隊列に身を投じる。

時に利あらず、学生運動、そして日本の革命運動は 69 年初頭の安田講堂攻防戦を頂点に潮の如く退く。北欧諸国には及ばずながら、経済の高度成長とその果実としての社会福祉政策の充実が階級闘争を後退させる。69 年 11 月、70 年安保条約改定のため訪米する佐藤首相を羽田で阻止しようと 2 日にわたった闘争で 7 回目の逮捕。初めて起訴され 70 年丸ごと、足掛け 3 年中野刑務所の独房で過ごす。刑務所だろうが「住めば都」の鈍感人間、久し振り娑婆に出てみれば浦島太郎、徐々に戦線から置き去りにされ、モラトリアム人間と化す。新しい目標を見出せぬまま駒場の教養課程に 7 年、取り敢えず法学部に進学するも、授業に出る気にもならない。持込み可の三省堂の模範六法片手に試験だけは受け、問題に該当するらしい条文と関係するらしい判例をどうにか見つけ、適当にこじつけ解答をでっち上げる巧技。当然不可のオンパレードだが、卒業に必要な可も揃え、公法コース（主に官僚養成）、私法コース（弁護士、民間向け）と 3 コースある中で、活動家には一番卒業し易い政治コースを 2 年で卒業。法学部に学士入学し直して 2 年間、30 歳まで学生を続ける。卒業証書は 1 枚で十分、2 度目は中退。授業に出ない分家庭教師や塾、予備校講師、教材作成、遂には友人と学習塾を経営、アルバイトに精を出し結構稼ぐ。八方尾根スキー場で知り合った妻と学生の身で 26 歳で結婚、28 歳で父親となり、4 年後二人目の子供が出来、西荻窪駅前の中古マンション購入と、フリーターながら食べるには困らない。40 歳近くなり同期会や同級会も行われるようになり顔を出すと、学生時代は活動家として一端の顔をしていたが気後れを感じる。食べるには困らないが世の中のことを知らない、社会経験がないので議論についていけない。一年発起して 40 歳でサラリーマンに。法律を知っている人間が欲しいと乞われて入った二度目の職場、高橋カーテンウォール。入った途端バブルが弾け、カーテンウォール（都庁などの鉄骨製の高層ビルの外壁に張られる工場製のコンクリートやガラス、金属性のパネル）を使う民間の高層ビルは建たない。公共性の強い JR や NTT、UR や官公庁などの営業をしなければならない。東大、しかも法学部に長くいた●はそんな所に知合いが多いだろう、営業に回れ！と社長。営業ですか？と思うが、社長に言われたことをしないと止めないといけない。渋々営業担当と一緒に建築計画のある JR 各社や NTT、UR、官公庁などを回ると、寮やクラス、学生運動の仲間がいてキーマンにつながり、話を聞いて貰い成果に結びつく。学生運動のオルガナイザーとして培ったネットワークの鏽落とし。世の中は人間関係で動いている。

エコビジネスの起業を誘われ、高橋カーテンウォールを退社して参画するが、資金繰りが続かず失敗。50 歳過ぎてサラリーマンに戻るのもきつい、前職を止める際引き留められたのを幸い、定額の顧問料と交通費などの経費、成功報酬とセットで、高橋カーテンウォールと営業顧問契約を結ぶ。以来四半世紀以上、事務所を持って建設関係のメーカーを主に営業顧問業をする傍ら、東大三鷹寮の同窓会東大三鷹クラブや、三鷹寮同期の高見邦

雄君らが始めた中国黄土高原緑化、貧困救済のボランティア活動などを応援する。三鷹クラブの隔月の講演会の告知を兼ねた個人通信「アマダイ通信」の発行も150回を超える。小泉郵政改革に兄が嫌気をさして明治の創業以来4代続く田舎の郵便局長を辞めるまで、切手を貼って3千通投函するようになるが、徐々にメールに切り替え、未だ8百通弱の郵送を含め個人通信も5千通以上、ネットワークの要の役割。ここまでくると簡単に止められない。(メールアドレスを持ちながら郵送で受取られている方はご連絡願います。)

◎常夏のバングラで娘二人増え！？

毎週末雪山でスキーを楽しむクレ一爺、2月13日から18日まで常夏の亜熱帯、バングラツアー。NPO法人「バングラデシュの村をよくする会」の首都ダッカのスラムや農村でのスタディツアーに参加、併せてバングラデシュから日本に技術研修や特定技能の人材を派遣したいという、「よくする会」の現地のカウンターパートと組み、日本でバングラデシュ人材を受け入れられないか？リサーチする目的も。

人材派遣では、71年のパキスタンからの独立戦争で、背負って逃げ惑った小さな妹が背負われたまま死んでいた悲しみを原点に、平和で豊かな国造りに貢献したいという、「よくする会」の現地カウンターパートのマスードさんに、高級ホテルとホテル関連専門学校、バングラいちの職業訓練学校チェーンの経営者を紹介して頂き、授業中の学校も見学させて頂く。日本語の研修は必要だが、職業訓練はしっかりしている。老いのパッションに火がつき、炎とならないか？

「よくする会」が支援するダッカのスラムと学校を見学・交流、農村に民泊、女子小中校の生徒と楽しく交わる。ダッカのスラムと農村の貧しさは、90年代初めにNPO法人「緑の地球ネットワーク」の黄土高原植樹ツアーに参加、北京や上海の路地裏、黄土高原の寒村を旅して以来、久しぶりのカルチャーショック。

「よくする会」が支援する女子校の6年生(9月から中学生)と9年生(9月から2年間の高校生)の里親になり、それぞれ年間1万8千円と僅かだが就学支援することに。この年で一度に二人の「娘」が出来る！？来年娘達に会い、黄土高原に続いて異国の定点観測が出来るのが楽しみだ。人材派遣の受け皿も確保してバングラデシュ人材派遣を軌道に乗せ、バングラデシュの働き口を少しでも広げ、日本の人手不足も緩和、其々がより豊かになるように、多少とも貢献出来れば嬉しい。

◎新幹線日帰り手ぶらスキー、78歳、生きている！

1月19日(日)北国は冬本番、日本に移り住むチャイニーズの富裕層が増えているとの報道。越後湯沢の白い山頂でも中語が飛び交う。中語の看板を掛けたレンタルスキー屋も3、4軒。春節の大移動が始まったせいもあるか？同窓会で知り合った後輩、通産省キャリアOB、家業のゴマ屋の会長の加藤君と、先週土曜日に続き湯沢高原でシーズン8度目の新幹線日帰り手ぶらスキー。7時36分東京駅発ガーラ湯沢行き新幹線で、9時少し前に湯沢着。先ず駅前のマンションの温泉に入り、乾きもので最近ハマっているスーパードライ生ジョッキロング缶。クリーミーな泡がいいね！とショート缶にも手が伸びる。行きつけの駅前の蕎麦屋大覚寺で、苦味ばしたバツケ(蕎麦の臺)入り、山菜天ざるそばで、今日は生ジョッキ缶飲んで来たからと、いきなり高千代純米を一合ずつ。

人間を物扱いして！と思いながら、世界最大級が売りの 160 人乗りで立ち乗り、20 分間隔のドラゴンドラで湯沢高原へ。6 人乗りのゴンドラが次々来て待たずに座って乗れる GALA 湯沢のロープウエーの方が便利だが、山頂から麓まで標高差 8 百メートル、延長 5 キロ、最大斜度 28 度、時に狭く広く、エキサイティングな下山コースは GALA の 2 キロ半の下山コースより滑り度がある。ゴンドラ山頂駅から下山コースへの入口にはご丁寧に、「上級者のみ、他は×☹」の看板。人に教わったことのない我流の腕前は上級者か疑わしい。生きて麓にたどり着けるか？☹看板みたら引き下がれない、突っ込む。最初は急斜面だが広い。曲がることで減速、減速することで曲がる。急斜面でも広ければこまめに綴ら折れ、減速出来る。綴ら折れの回数を如何に少なくし、スピーディーに、気分よく滑り下りるか？だが、そんな広い所は少ない。林道コースの狭い急斜面、いやでも増すスピードを如何に抑えるか？大きな綴ら折れの斜面、その直線部を綴ら折れにこまめに曲がり減速することで、どうにか大きな綴ら折れを曲がれる。残念ながら狭い急斜面を、曲がることなく一気に駆け下りる技術はない。如何に早く！ではなく、如何にスピードを殺すか？出来なければ、綴ら折れのカーブで体はコースを外れ宙を飛ぶ。スピードとスリル、ダイナミズム、スキーに勝るスポーツなし！

駅前からゴンドラで一気に登る純白の絶景、インバウンド中心に雪見客は増える一方だが、滑りを楽しむ客は増えず、待たずに乗れるリフトに何度も乗る。ゴンドラにも午後からなのに 3 度、下山コースも 3 度、リフトにも 12 本乗り酔っ払い爺はほぼ絶好調。太ももに負荷をかけてエッジを利かせ、右に左に体を傾けダイナミックに曲がる度に、曲がった方向と逆に、水分の少ない乾いた雪が派手に飛び散る。空は青く山白く、絶好のコンディションの多彩な斜面、乾いた冷気を突き裂き自在に滑りを楽しむ。78 歳、元気に生きている！限りある命、命ある限り！マンションの温泉で頑張った身体を労り、飲食難民が右往左往する陽の落ちた雪国の街を、予約した馴染みの保よしに 2 人で急ぐ。こんな所にも、ミャンマー娘のサービスも板につき、久し振り越後もち豚うどんすきで生ビール、鶴齢と八海山純米で緊張した神経を緩ませ、7 時 40 分発の新幹線で白川夜船。

折からの大雪警報で 2 月 22 日からの 3 連休は不要不急の外出は控えてとテレビ。息子の社会人 2 年目の孫娘、大学 1 年生の孫息子と 1 月以来二度目の、湯沢駅前スキー合宿。麓の布場スキー場でのスクールと爺ちゃんの教習を卒業するが、ゴンドラで上る湯沢高原スキー場は初心者向きじゃない。車で岩原スキー場に移動して滑る。孫娘には少しきついようで、絶景の山頂には上れないがクレール爺はシーズン 15 回目のスキー。昨シーズンは 13 回。次回 3 月下旬の 3 回目の合宿で、絶景の山頂に上り、景色を楽しみながら林道コースをゆっくり一緒に滑り下りたい。娘の中 3 の孫娘と小 5 の孫息子はスキーを卒業してスノーボードをガンガン滑る。一緒に滑ってくれる仲間が 2 人増える。人間は社会的動物、一人で滑っても楽しめない。今シーズンは何回滑れるか？

◎第 26 回 味は文化です！もつ鍋編

1 月 18 日（土）夕方☛事務所まで三鷹クラブ世話人会の後、新宿 3 丁目の居酒屋で三鷹クラブの新年会。OB 5 人現役 17 人で盛況。駒場から遠い、自治寮が潰されアパート化、交流が少なく面白くないからか、我々が青春を謳歌した三鷹寮は最近学生に人気がない。6 百人の定員に 2 百人少し。交流を増やし、経験と知恵を交歓、OB を含めたネットワーク

を広げ、社会有為の人材を育成、自分たちも楽しもう、寮生活を魅力あるものにして寮生活を増やそうと、OBから集めた浄財だけでは足りず、薄い財布を更に薄くするクレー爺。

大手外食コロナ経営の居酒屋チェーン 365 酒場、野菜サラダ、ポテトチップ、たこ焼き、鳥唐揚げ、鉄鍋餃子など 7 品と 2 時間飲み放題付、の明太モツ鍋コースが 2980 円と、プチ谷町には嬉しい価格。若い胃袋には少し物足りないよう、締めうどんを更に追加。モツは西日本の食べ物。本州では鍋では食わず、モツ煮やホルモン焼き。モツ鍋は九州の食べ物。インドネシアやマレーシア、バングラデシュからの留学生も参加、ハラルを心配するが、敬虔なムスリムはいなかった様。制限時間を越えて盛り上がる。

参加者は内平耕作 (2024・理Ⅱ・千葉)、口木成洋 (2024・文Ⅱ・長崎西)、畑中健司 (2024・理Ⅰ・滝)、山際美愛 (2024・文Ⅲ西大和学園)、Desak Ayu Clara DEWANTI (2024 (院)・工学部システム創成学専攻・インドネシア)、CANDRA Feby Juana (2024 (院)・System Innovation・Indonesia (University of Surabaya))、Wu Ming-Rou (2024 (院)・化学システム工学・台湾 (台湾大学))、大内颯人 (2023・文Ⅰ 法学部・甲陽学院)、岳駿輔 (2023・文Ⅱ・福大大濠)、黒田愛 (2023・理Ⅱ 化学生命工学科・西大和学園)、田中悠飛 (2023・理Ⅰ 電子情報学科・洛北)、田仲佑将 (2023・文Ⅱ 経済学部経営学科 (内定)・大分上野丘)、日野彰大 (2023・理Ⅰ 工学部航空宇宙工学科 (内定)・高松)、Dolgion (2023・文Ⅰ 法学部第 3 類政治コース・モンゴル)、Lim Zi Heng (2023・工学部化学システム工学・Malaysia)、Md Hadiul Islam (2022)、Dhruv Iyer (2019・理Ⅰ 工学部機械情報工学科・ムンバイ)、横字史年 (2015・文Ⅲ・岡崎)、松沢陽一 (1968・理Ⅰ 工学部航空学科・高岡)、飯田徳松 (1966・文Ⅲ 農学部農業経済学科・上野)、 (1966・文Ⅰ 法学部・能代)、打林國雄 (1965・理Ⅰ 工学部都市工学科・富山中部)、辰紘 (1965・文Ⅰ 教養学部教養学科国際関係論・三国丘)。

◎第 27 回味は文化です！牛鍋を楽しむ会 (2025. 02. 20)

参加者は口木成洋、古澤尚樹 (2024・理Ⅰ・久留米大学附設)、山際美愛、山腰柗真 (2024・(京都大学 経済学部) 大学院経済学研究科・北野)、大内颯人、岳駿輔、田中悠飛、田仲佑将、日野彰大、柴田卓巳 (2016・文Ⅲ 教養学部学際科学科 (地理・空間コース) 大学院総合文化研究科 (人文地理分野)・東葛飾)、松沢陽一、飯田徳松、。

◎第 28 回味は文化です！きりたんぼパーティー (2025. 03. 01)

参加者は山腰柗真、Desak Ayu Clara DEWANTI、CANDRA Feby Juana、Wu Ming-Rou、大内颯人、日野彰大、柴田卓巳、横字史年、園田夢之介 (2015・文Ⅲ 教養学部学際科学科・北海道帯広柏葉)、小松真秀呂 (2014・理Ⅱ 工学部精密工学科・諏訪清陵)、飯田徳松、。

◎営業マンは何を売するのか？ (結びにかえて)

40 歳でサラリーマンを始め営業職、50 歳で営業顧問業で独立、78 歳の今に至るまで営業一筋。クライアントに恵まれ、色々な製品やサービスを売るが、一つとして自社製品はない。一方会社の腕利き営業マンでも営業専科で独立出来る者は少ない。あの人なら、あいつが言うのなら聞いてみようと思って頂く、製品やサービスではなく自分を売る。面白い奴と思って頂けているのか？クレー爺の後追いの思い付きだが如何でしょうか？ (再見)